

# 営農情報（大豆）

令和4年7月29日

（大豆営農情報 8月号）

J A福岡大城、南筑後・久留米普及指導センター

## 1 生育概況

播種は6月末から開始され、ピークは7月4～13日ごろでした。例年より早めに播種が進み、出芽も概ね順調です。カメムシ類が例年より多く、多発生が懸念されますので、今後もよく観察し、適期管理を行いましょう。

## 2 中耕・培土

本葉2～3葉期以降、5～6葉期までに中耕・培土を行います。

倒伏防止、雑草防除、土壌の通気性・排水性の向上等の効果があります。

<ポイント>

- ・培土後の溝は、表面排水の向上のため、明渠や排水溝に連結させる。
- ・開花期以降の培土は根を切断しやすく、生育抑制や落花につながるため、開花始め（最初の花が見られる時期）までに終了する。

## 3 雑草対策

雑草が多いほ場は、中耕・培土と除草剤を組み合わせ対応します。

<アサガオ等の広葉雑草が多いほ場>

薬剤名	使用時期	備考
パワーガイザー 液剤	大豆出芽直前～3葉期 (雑草発生始期～2葉期)	雑草の生育抑制効果 ※使用時期が「大豆3葉期まで」であるため 注意すること
アタックショット 乳剤	大豆本葉2葉期～開花前 (雑草生育期) ただし収穫45日前まで	・ヒロハフクリンホズキ(5葉期まで)に効果高い ・中耕・培土と組み合わせることで効果高い ※大豆の葉に薬害が生じますが、新たに展開する葉には影響なく、次第に目立たなくなります。
大豆バサグラン 液剤	大豆2葉期～開花前 (雑草の生育初期～6葉期) ただし収穫45日前まで	・アサガオ類：2～3葉期まで (ツルが出てきたアサガオ類には効果落ちる)

<イネ科雑草が多いほ場>

薬剤名	使用時期	備考
ポルトフロアブル	雑草生育期（イネ科雑草3～10葉期） ただし収穫30日前まで	・中耕・培土後に散布すると長期的に防除できる ※スズメカサネを除く

#### 4 乾燥対策

8月15日頃から、開花期に入ります。開花期前後は、大豆が最も水を必要とする時期です。5日以上まとまった降雨がなく、ほ場が白く乾いている場合は、うね間かん水を行うか、暗渠栓を閉める等の対策を行いましょう。

◎農作業時の熱中症に注意しましょう。こまめな休息と水分補給が大切です。

◎農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう！